

# お知らせ

## 「乳がん・子宮がん検診」を受けましょう

乳がんは、女性がかかる「がん」のなかで最も多く、また子宮がんも増加傾向にあり、特に子宮頸がんは20歳代から30歳代で急増しています。

どちらのがんも、**早期に発見し、早期に治療をすれば治癒率の高いがん**です。がんの多くは自覚症状がありません。一年に一度、**定期的に検診を受け、自分の健康を守りましょう。**

町では財団法人北海道対がん協会による乳がん及び子宮がんの集団検診を、次に日程で実施しますので、この機会にぜひ受診しましょう。

**申込** 検診は時間予約制で、申し込みの**受付開始は2月18日（月）**からとなります

検診月日	検診会場	受付時間
3月13日（水）	町民総合センター	8:30～ 9:00 12:30～13:00
3月14日（木）	パートナーシップランド	8:30～ 9:00 12:30～13:00

ので、希望する方は、健康推進課または大島支所へ申し込みください。（乳がん検診の定員は1日90名です。）  
※検診料金など詳しくは、今月号の折り込みチラシをご覧ください。

**問** 健康推進課

☎ 42 1 2 2 7 5 ㊦ 2 4 2

## 屋根からの落氷雪事故防止などのお願い



毎年、冬になると、沿道の建物などからの落氷雪による死傷事故が多く発生しています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にして事故を防止するため、**特に、次のことに注意するようお願いいたします。**

- ◆屋根の雪、氷、つららが道路に落ちる建物には、これに伴う事故を避けるため、**雪止めを設置**するようにしてください。
- ◆既に**雪止めが設置されていても**、針金などのさび、老朽化による破損が原因で落氷雪事故が発生することもあります。**必ず点検**し、破損などがあれば早めに修繕するようにしてください。
- ◆落氷雪事故は、**気温が-3℃から+3℃程度のときに発生しやすい**という特徴があります。そのようなときは、屋根から雪などを早めに落とすようにし、作業中は歩行者や遊んでいる子どもなどに十分注意してください。
- ◆落氷雪があったときは、直ちに事故がないか確認するとともに、歩行者の通行の支障にならないよう速やかに除雪してください。
- ◆交通事故及び交通障害防止のため、**屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さない**ようにしてください。
- ◆軒下を通行する時は、屋根からの落氷雪に十分注意してください。
- ◆軒下や道路では、絶対に子どもを遊ばせないでください。
- ◆高いところからの落氷雪は少量でも危険なため、早めに付着した雪や氷の除去を行うようにしてください。

松前町・北海道開発局・北海道・北海道警察